



2019-7-8
No.19-049

報道関係各位

メットライフドームエリアの改修計画 第一弾 新室内練習場・選手寮、ライオンズ チームストア フラッグス、新オフィスが 今月から稼働

新室内練習場の名称は「ライオンズ トレーニングセンター」に決定



ライオンズ トレーニングセンター内

ライオンズ トレーニングセンター外観

ライオンズ チームストア フラッグス外観

株式会社西武ライオンズ（本社：埼玉県所沢市、代表取締役社長：居郷 肇）は、2017年12月よりメットライフドームエリアの改修工事を進めておりますが、この度、第一弾となる「新室内練習場・選手寮」「ライオンズ チームストア フラッグス」「オフィス棟」が、2019年6月に竣工し、各施設が今月から稼働します。

これらの施設の稼働に先立ち、各施設の名称ならびに稼働日が決定しました。

	名称	稼働日(予定)
新室内練習場	「ライオンズ トレーニングセンター」	2019年7月9日
新選手寮	「若獅子寮」	2019年7月9日(※)
新大型グッズショップ	「ライオンズ チームストア フラッグス」	2019年7月15日
新オフィス棟	「西武ライオンズ オフィス棟」	2019年7月24日

(※)7月9日には、若獅子寮内のトレーニング施設の使用が可能となりますが、居住スペースの稼働は7月12日になる予定です。

当社では、「共に強く。共に熱く。」の事業ビジョンのもと、引き続きメットライフドームエリアの改修を2021年3月まで進めていきます。

詳細は次のとおりです。

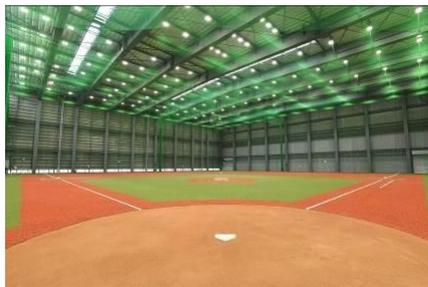
1. 各施設の概要

(1)ライオンズトレーニングセンター(新室内練習場)

～12球団最大級、最新設備とファンの見学が可能となるトレーニングセンター～



ブルペン(手前)とバッティングレーン(奥)



内野フィールドエリア



ファンデッキ

◆12球団最大級の広さ メットライフドームと同様の人工芝を導入

約40年ぶりに生まれ変わる室内練習場は、12球団最大級の広さを誇ります。内野フィールドエリアは、内寸50m×50mの広さを確保。メットライフドームと同様のミズノ社製の人工芝「MS Craft Baseball Turf」を採用し、試合と同様の環境下で練習が可能になります。

◆ブルペン5レーン、バッティング4レーンの専用ゾーンを設置

ブルペン5レーン、バッティング4レーンの専用ゾーンを設置し、複数の選手が同時に練習することが可能な設備が充実します。ブルペンには、最新の映像解析機器を導入し、投手陣は科学的なトレーニングも実施可能となります。

◆西武第二球場までの「ライオンズロード」を整備

施設外周には、西武第二球場へ向かう導線を整備し、あらたに「ライオンズロード」と命名しました。今後もファンのみなさまが、試合、練習見学を一層楽しめる環境整備を引き続き進めていきます。

ライオンズロードに面した同センター壁面には、ビクトリーエンブレムと同じ「WE ARE ONE」を掲出。駅方面からは「レジェンドブルー」、西武第二球場方面からは「ライオンズブルー」でロゴを掲出し、特殊な「レンチキユラー」工法を採用しております。

◆「ファンデッキ」からは室内練習の見学が可能同センターの一角には、ファンの皆さまが室内での練習をご見学いただけるデッキ「ファンデッキ」を設置し、希少な室内練習の様子をご覧いただけます。

(2)若獅子寮

～トレーニングセンターと一体となった若獅子寮は、野球に集中する環境を提供～



食堂(CAFETERIA)



ロッカールーム



トレーニングルーム

◆NPB初！MLBで使用されているロッカーを導入

全4階層からなる“新”若獅子寮。

1階は、ライオンズトレーニングセンターと内部でつながっており、「トレーニングルーム」として、トレーニングマシンなどを設置し、選手のフィジカル面の強化を図ります。また、人工芝スペースを設置し、簡易なランメニュー、体幹トレーニングの実施が可能。あわせて、選手のフィジカルケアを実施する、「トレーナールーム」「バスルーム」を併設。7台の施術用ベッドを設置。旧トレーナールームの2倍の規模を確保。バスルームは、サウナ、水風呂を完備した施設です。

2階には、監督室、ミーティングルーム、スコアラールーム、選手ロッカールームを設置。スコアラールームでは映像、データなどの分析を実施し、その内容を基にミーティングを行うスペースとして活用。また、選手ロッカールームには、所属選手全員のロッカーを用意。MLB(メジャーリーグベースボール)で導入されている「IXPASS Sports Locker」をNPB 球団で初めて導入します。

◆個々の選手に合わせた栄養指導を実施

3階には、食堂(CAFETERIA)、サロン、ミーティングルームを完備。管理栄養士による栄養面を考慮した食事の提供、個々の選手に合わせた栄養指導を実施します。

◆20 室から 28 室に部屋数を増設

4階は、選手居住エリア。旧若獅子寮の20室から28室に部屋数を増設しました。

◆若獅子寮壁面に歴代のチーム球団旗をデザイン 現在の若獅子寮は8月に解体

ライオンズロードに面した若獅子寮壁面には、歴代のチーム球団旗をデザイン。西鉄クリップアースから現在に至る球団旗のデザインをお楽しみいただけます。

なお、現在の室内練習場、若獅子寮は8月より解体し、その後、同スペースにはサブグラウンドやブルペンを新設します。

(3)ライオンズ チームストア フラッグス(新大型グッズショップ)

～巨大 LED ガラスで非日常感・ワクワク感を創出する大型旗艦店～



ライオンズ チームストア フラッグス外観



店内の様子



「G-Smatt GLASS」点灯時の様子
※点灯している映像は制作中のものです。

◆600 m²超を誇る大型旗艦店

2階層、600 m²超を誇る、大型旗艦店がオープンします。

これまでメットライフドームエリアに点在していた各グッズショップを集約し拠点化。さらに、駅からドームへの主導線上に位置することで、アクセスが格段に向上します。

1階は、ライオンズグッズを主に取り扱い、2階には、ビジターグッズやレプリカユニフォームのネーム&ナンバーシートの圧着などのサービスコーナーを設置します。1階の主導線に面した壁面には、対面式カウンターショップ「ライオンズ チームストア ゲートサイド」を同時にオープンし、イベント企画商品などを中心にラインナップする予定です。

◆日本最大の透過性特殊 LED ガラス「G-Smatt GLASS」で非日常感を演出

スマートスタジアム化の一環として、ストアのガラス面には、透過性特殊 LED ガラス「G-Smatt GLASS」を2面装備し、オリジナル映像の放映や、イベントに合わせたデジタルデコレーションが変幻自在に移り変わる未来的な外観に。昼はスタイリッシュな建物として、夜は LED ガラスを生かした映像演出で球場内外を盛りあげます。

さらに、2021年には場内のビジョンとも接続し、ホームランなど試合と演出を連動することにより、ファンの皆さまに非日常感・ワクワク感をより一層感じていただけるコンテンツも構成していく予定です。

■透過性特殊 LED ガラス「G-Smatt GLASS」について

G-Smatt 社製による特殊技術で LED とガラスが融合し、透明なガラス空間が瞬時に広大な映像空間に生まれ変わる最先端のメディアソリューション。ガラスの透明性を維持しながらフルカラーの映像表現が可能となり、建築物そのものをビジュアルアートや広告の媒体として利用できるメディアファサードです。2面全画面表示時に縦 5.5m x 横 31.4m で「G-Smatt GLASS」として日本最大となります。

(4)西武ライオンズ オフィス棟(新オフィス棟)

～チームを支え、エンターテインメントビジネスの推進拠点として稼働～



オフィス棟外観



オフィス棟エントランス



ミーティング、接遇エリア

◆各時代のチームカラーを配した諸室やメモリアルな写真展示も

全3階層からなる西武ライオンズ オフィス棟は、1階がミーティング、接遇をするエリアとなり、各時代のチームカラーを配した諸室、メモリアルな写真展示など趣向を凝らしたものとなります。

2階、3階は当社従業員の執務エリアとなります。

2. 西武ライオンズ松井 稼頭央二軍監督のコメント

トレーニングセンターも若獅子寮も、予想を超える立派な施設になり大変驚いています。選手たちが野球に打ち込める最高の施設が整いました。

食堂では管理栄養士の協力のもと、選手それぞれに合った食事の指導をしてくれますので、選手自身の食事への意識が変わっていくはずです。選手ロッカーも、在籍選手全員分が用意されており、一軍・ファーム問わず、ひとりでも多くの選手が、ロッカーに立ち寄ってコミュニケーションを積極的に図ってほしいです。

トレーニングセンターも、メットライフドームとほぼ同様の環境が整っていますので、日々のトレーニングの質も格段に上がるはずです。

ファームの選手は、この立派な施設でまずは努力をし、経験をたくさん積み、私としては、メットライフドームで活躍できる選手をひとりでも多く輩出できるように、選手育成の部分でより一層力を入れていきたいと思えます。

【参考】メットライフドームエリアその他の改修計画概要(2017年11月15日発表)

(1)西武第二球場スタンドの新設

バックネット裏に約200席を設置

(2)室内練習場、若獅子寮跡に

サブグラウンド、ブルペン新設
練習環境を拡大整備

(3)ドーム前広場の刷新

ドーム正面に新たな施設の顔として入場ゲートを設置

(4)3 塁側外周エリアの拡張・改修／

獅子ビルリノベーション

コンコースと獅子ビル間にデッキを設置し、
開放的な空間を創出。
獅子ビル内には、屋内キッズパークとフードエリアを設

(5)メットライフドームにこども広場を設置

メットライフドーム3 塁側に
約1,000㎡の屋外こども広場を設置

(6)メットライフドーム観客席の全面改修

多様化する観戦スタイルに応え、新たな座席、エリアを
提案

(7)メットライフドームのバックネット裏、

BOX シートの大規模改修

12 球団最大級、約430名収容のネット裏VIPラウンジを
新設するほか、最前列には砂かぶり席を設置

(8)メットライフドーム大型ビジョン／

音響／照明設備の刷新

エンターテインメント性と臨場感にあふれる演出を実現

(9)メットライフドームの暑さ対策

夏場の暑さ対策として、グラウンドレベルにおいては、
1、3 塁側のダグアウトに空調ダクトを新たに通し、冷気を
グラウンド内に運びます

(10)スマートスタジアム化の加速

スマホチケットの利便性向上など

※すべての施設が竣工するのは2021年3月の予定です。

【お客さまのお問合せ先】

埼玉西武ライオンズインフォメーションセンター TEL. (0570) 01-1950 (平日 10時～18時)



上から西武第二球場・サブグラウンド・ブルペン、ドーム前広場、3 塁側外周エリア、VIP ラウンジの完成予想図